

身近な雑かん木 (1)

NPO 法人自然観察大学代表 元千葉県立千葉高校 岩瀬 徹

雑かん木とは

雑かん木という学術用語はないようだが、広く慣用されている。かん木は灌木と書き、もともとは株立ちするような低い木を意味していた。灌という字が使われなくなって低木に置き換えられたが、細かくいえば灌木と低木は微妙に違う。雑かん木というところのあたりをやや漠然と表している。

雑は“いろいろな”の意味であり、雑かん木は、雑草に相對する言葉のように使われる。雑草は人と密接したくらしをするが、直接人が手を下して育てるものではない。雑かん木も人の影響のある土地に生育するが、わざわざ人が育てることはあまりない。多くは“いつの間にか”生えてくる木である。

たとえば、休耕地を放置すると多年草群落の中に雑かん木が侵入してくる。年数を経て低木群落となつていくところがある。また、空き地や土手、河川敷などにもしばしば雑かん木の生育しているのを見る。

造林地や二次林などでいうと、林縁部には高木層と林外との空間を埋めるように、低木群のゾーンができていく。これをマント群落というが、林の安定性を保つ効果をもっている。マント群落は林内より木の種類は豊富で、野外観察のさいの視点の一つになる。マント群落をつくる種類としてはここでの雑かん木やつる性植物が多い。

雑かん木は一般にパイオニア的な性格をもっている。陽地の条件下で発芽し初期の成長が早い。幹の基部あるいは途中からよく枝分かれするものが多い。ほとんどが落葉樹であるが、季節の中でつぎつぎに芽を伸ばし葉を順次開くような生活様式をとるものが目立つ。葉は大形で複葉のものもある。

雑かん木は樹林形成の初期の段階に位置するが、ときには緑化木として利用することもあり、また制御を必要とすることもある。ここでは有用、無用という観点にとらわれず、身近にある主要な雑かん木の見分けをし、そのくらしを知っていきたい。



写真-1 20年以上を経た放棄田に成長した雑かん木の群落、ヒメコウゾ、ヌルデ、アカメガシワ、クワ、カラスザンショウなど。(千葉市原市)

主な雑かん木（１） アカメガシワ

カシワはブナ科の落葉高木であるが、アカメガシワはトウダイグサ科の落葉樹でカシワとは縁遠い。もともとカシワの名は“炊（かし）ぐ葉”からきているといわれる。食べ物を包んで蒸したりする葉は“炊葉”であった。柏餅の葉はブナ科のカシワを考える人が多いが、サルトリイバラの葉を使う地方もあるし、ときにはカクレミノやホウノキであったりする。アカメガシワの葉も大きいし、昔は“炊葉”の役割をしていたのであろう。図鑑には五菜葉の名もあると記されている。新葉には赤い星状毛が密生して赤く見えるので赤芽の名がついた。

アカメガシワは林のまわり、土手のまわり、街なかの空き地など、どこにでもよく生える。林の伐採跡に一面に芽生えているのに出会うことがある。成長ははやく、放置されと高さ10mにもなる。まれに雑かん木の域を超えてアカメガシワ林になることもある。

枝振りは大まかで、樹皮は灰色、縦に網目状の浅い裂け目があるので識別しやすい。春から夏にかけて葉が次々に出るが、先に出た葉は葉柄を長く伸ばして新たに出る葉に光を遮られないようにしている。葉の両面に星状毛が密生しているのでさわるとざらつく。葉身の基部に2個の腺体（蜜腺）がある。ときどきこの近くをア



写真-2 林の伐採あとに真っ赤に咲いたアカメガシワ（5月）

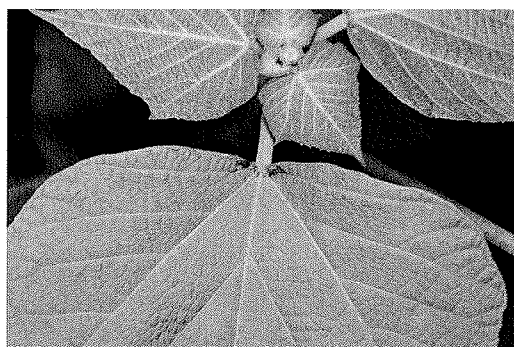


写真-3 新しい葉は赤く見える。葉脈の基部に2個の腺体、近くをアリが歩く



写真-4 葉は次々に伸びる。下になった葉は柄を長く伸ばし光を受けようとする

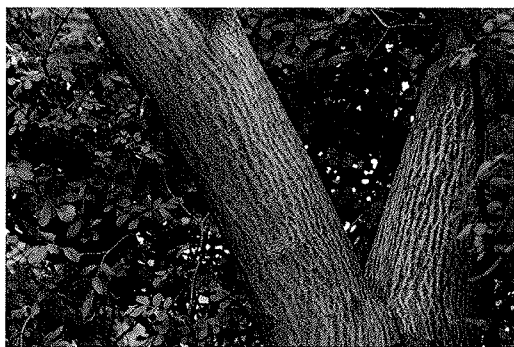


写真-5 樹皮、縦に網目状の模様がある

リが歩いている。アリは葉のガードマンの役割をしているといわれる。

夏の日中、日なたの枝の葉が垂れていて日陰の枝の葉は水平に開いているのを見る。垂れている葉も夕方には水平になる。光に対する反応の一つである。

花期は6～7月ごろ。枝先に小さい花が集まっ



写真－6 雌花序、柱頭は3個



写真－7 雄花序、雄しべは多数

時代のニーズにお応えします! 協友アグリの水稲用除草剤!

難防除雑草から田植同時までバッチリ対応!

バッチリ

1キロ粒剤/フロアブル/ジャンボ

2成分で強力除草!

低コスト・高効果・省力防除!

サラブレッド RX

フロアブル

3成分3製剤でキチット効きます!

ピクトル

1キロ粒剤/フロアブル/ジャンボ

キチット

1キロ粒剤
ジャンボ
フロアブル



ノビエ



ホタルイ



コナギ



アゼナ



オモダカ



クロクワイ

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。



JAグループ

農

協

全

農

経

済

連

登録商標 第4702318号



協友アグリ株式会社

神奈川県川崎市高津区二子6-14-10